

「教育実践に関わる活字及び教育業績」の記載上の注意

(注)作成にあたっては、必ずこの様式に従って各自で作成すること。

各欄は、スペースを変更したり該当しないところを削除する等、各自でレイアウトできるが、記載順序は入れ替えないこと。

※「教育実践に関わる活字及び教育実績」は、本学教職大学院担当審査用の様式です。別途提出いただく「研究、教育、管理運営及び社会的活動等に係る業績一覧」に記載の業績の中で、以下に記載の内容に該当する業績を「教育実践に関わる活字及び教育実績」の該当欄に記載してください。

1. 研究業績 (公募締切日現在までの業績を記載すること。)

以下の業績について、最近10年間のものをすべて記載すること。

- ・ 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等（以下「初等中等教育の学校」という。）での教育実践に関わる活字業績
- ・ 幼児児童生徒等を主な研究対象とした活字業績、又は幼稚園教育要領、学習指導要領の範疇の内容に関する指導法や教材研究に関する活字業績
- ・ 幼児児童生徒等を主な研究対象とした活字業績
- ・ 幼稚園教育要領、学習指導要領の範疇の内容に関する指導法や教材研究に関する活字業績

※ここでの活字業績とは、著書、学術論文等（国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等）、教育実践記録等（研究紀要、研究集録、研究レポート、実践レポート、教育論文、研究会での研究発表や実践発表の発表記録等をまとめたもの等）、その他教育関係雑誌のコラム、初等中等教育の学校向けの教科書等の教材、大学の教職課程で使用を想定した教科や教職に関する教科書等の教材、報告書等で活字化して公刊されているものが相当する。

2. 教育業績 (公募締切日現在までの業績を記載すること。)

以下の業績について該当欄に記載すること。

- ・ 初等中等教育の学校（教育委員会等も含む。）での教職経験。（非常勤講師、附属学校園での現場研修も含む。）
- ・ 初等中等教育の学校との協働による教育実践の経験、教育実践研究の経験（附属学校園の研究指導に関する共同研究・指導・助言も含む。）等。
- ・ 初等中等教育の学校での出前講座や幼児児童生徒を主な対象とした公開講座等を担当した実績。ただし、単発的な実績ではなく、複数回の（できれば継続的な）実績であることが望ましい。